

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 にここ		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 29日		～ 令和8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 29日		～ 令和8年 3月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 29日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人ひとりに寄り添った支援の実践	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの特性や発達段階に応じた個別支援の実施 日々の様子を踏まえた柔軟な関わりと活動内容の調整 保護者の意向やニーズを取り入れた支援計画の作成 	<ul style="list-style-type: none"> 支援の成果や成長過程の可視化(記録・共有の強化) 支援の意図やねらいを保護者へ丁寧に説明 支援事例の共有による職員全体のスキル向上
2	保護者との信頼関係と丁寧な対応	<ul style="list-style-type: none"> 連絡帳や送迎時を活用したこまめな情報共有 保護者の相談や不安に対する丁寧な説明 日常的に話しやすい雰囲気づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な面談機会の設定と内容の充実 ICTツールを活用した情報共有の効率化 保護者同士の交流や情報交換の機会の創出
3	安定した運営と安全への配慮	<ul style="list-style-type: none"> 環境整備や清掃、安全点検の継続的な実施 契約時や日常における丁寧な説明 基本的なルールや安全対策の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 安全対策や緊急時対応の見える化(掲示・資料化) 保護者への具体的な取組内容の発信 定期的な振り返りと改善の仕組みの強化

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援内容や成果の「見える化」の不足	<ul style="list-style-type: none"> 日々の様子を連絡帳や口頭で共有 支援内容を記録し職員間で共有 必要に応じて個別に説明を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 成長や変化を可視化するツールの導入 定期的なフィードバック機会の設定 支援の目的や意図を体系的に伝える仕組みづくり
2	保護者参加や交流機会の不足	<ul style="list-style-type: none"> 個別対応を中心とした丁寧な関わり 日常的なコミュニケーションの確保 必要時の相談対応 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者会や交流会の開催 参観日や参加型イベントの実施 オンライン等を活用した情報共有の場の整備
3	リスク管理・緊急時対応の周知不足	<ul style="list-style-type: none"> マニュアル整備や基本的な安全対策の実施 職員間での情報共有 日常的な安全確認 	<ul style="list-style-type: none"> 緊急時対応フローの明確化と保護者への周知 避難訓練の実施および内容の共有 ヒヤリハット事例の蓄積と改善への活用